

2008年10月24日

各 位

ホソカワミクロン株式会社

代表取締役社長 細川 益男
東証・大証 1部 (6277)
連絡先：広報・IR室長 荒川 隆
TEL. 072-855-2226
FAX. 072-855-5197

科学技術で世界に冠たるドイツが生んだ 新しいタイプの省エネ・高性能分級機

ホソカワ/アルピネ ツイン ターボプレックス TTC型を導入

ホソカワミクロングループは、現在、世界11ヶ国に連結子会社16社を展開し、それぞれの企業が粉体技術に関する優秀な技術・製品をもって事業活動を行っております。当社は、以前から、『テクノロジー・トランスファー(相互技術移転)』を経営の重要方針のひとつに掲げ、グループ企業同士で互いの優秀な技術の共有化を図り、ホソカワミクロングループ全体の総合的技術力向上に努めてまいりました。

この度、当社は、ホソカワ アルピネ AG. (アウグスブルグ市、ドイツ) が開発した新しいタイプの省エネルギー・高性能分級機 ツイン ターボプレックス TTC型を導入し、来る10月28日(火)～31日(金)に開催される「国際粉体工業展東京2008」への出展を機に、国内での販売活動に入ることにいたしましたのでお知らせいたします。

(注)分級機：一般に、粉砕機で処理された粉は、比較的幅広い粒度分布を持ちますが(大きな粉と小さな粉が混ざった状態)、この中から必要な大きさの粉だけを取り分ける装置を分級機と呼びます。

分級機には色々なタイプがありますが、ホソカワミクロングループは、空気の流れを利用した高効率の風力式分級技術を得意としております。

<システムの特徴>

- ・わが国においても、1ミクロン前後の微粉製品を効率よく分級したいという要求が高まっておりますが、従来の分級機では大きなエネルギーを消費しても、1ミクロンレベルでのシャープな分級は困難でした。

本機は、計算流体力学を用いて最適化した構造の**新規開発分級ロータ(特許)**が精密分級を可能にする**二段渦流**を生み出し、従来の装置では難しかった**1ミクロンレベルの微粉**が効率よく得られ、しかも**大容量の処理**が可能で、**プロセス消費エネルギーを30%も削減**できるようになりました。

<主たる用途と実績>

- ・これまで、ホソカワ アルピネ社では、炭酸カルシウム、水酸化カルシウム、黒鉛、タルク等、ミネラル分野を中心に5年間で約40台の実績を持っております。

<特 許>

- ・ドイツを始め欧州9カ国、中国、日本で特許取得または申請中です。

<TTC の概要>

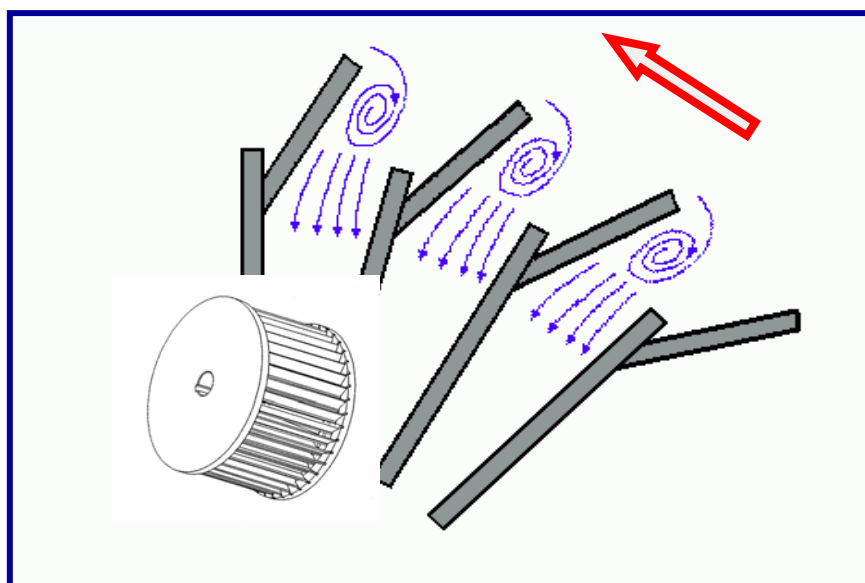
1. 装置名称 **ホソカワ/アルピネ ツイン ターボプレックス TTC型**
2. 分級ロータ回転数
 - ・ 200TTC型:10,000回転/毎分 ~ 500TTC型 : 4,600 ~ 710TTC型 : 3,250
3. 標準処理量
 - ・ 200TTC型 : 500 k g /毎時間 ~ 500TTC型 : 3,150 ~ 710TTC型 : 6,250
4. 分級レベル 1 ミクロンレベルの分級が可能
5. 最大圧力損失 8 kPa ~ 10 kPa
6. 価 格 (鉄製の場合)
 - ・ 200TTC型 : 150万円、500TTC型 : 280万円、710TTC型 : 390万円

<販売目標> 年間 10台以上

以上、お知らせいたします。

(注)次ページに参考図&写真

(参考)ロータ内の渦の状態(概念図)



(参考写真)ツイン ターボプレックス 710TTC 型

